

# 浜松の学力再考

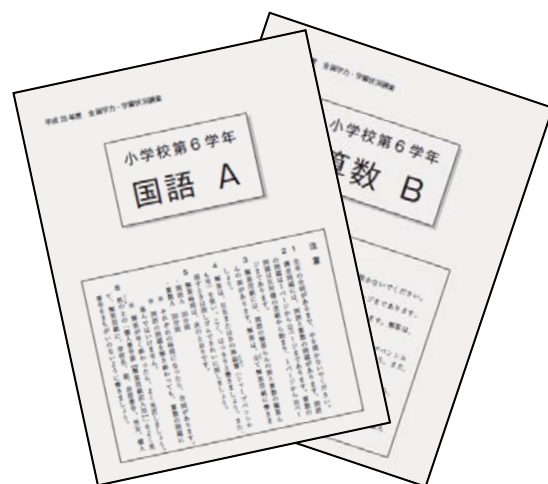
## 平成25年度 全国学力・学習状況調査結果から

国語A 全国平均を **大きく下回る**

国語B 全国平均とほぼ同じ

算数A 全国平均を **わずかに下回る**

算数B 全国平均を **上回る**



平成25年度全国学力・学習状況調査における浜松市の子どもの結果は上記のとおりでした。特に「国語A」については静岡県が全国最下位でした。浜松市も静岡県の平均を上回っているものの、全国平均には達していません。

この報告書は、調査結果から見てきた浜松市の子どもたちの学力や生活習慣の傾向と課題、また、それに対して各学校で取り組んでほしいことや授業改善のアイデアについて以下の項目ごとにまとめてあります。

- 質問紙の傾向と改善の視点
- 国語の傾向と授業改善
- 算数の傾向と授業改善

■ 浜松市小学校データ  
■ 浜松市中学校データ

## 授業の質を問う

**Q** 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすることは難しいと思いますか

**Q** 児童が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか

浜松市の値  
から全国の値  
を引いた数値

全国平均

2.1%

-1.5%

浜松市の値

61.4% 66.4%

3.3% 4.6%

94.2% 90.3%

「難しい・どちらかと言えば難しい」と答えた子どもが6割を超えています。小学校では、全国平均を上回っています。

9割以上の学校で、意図的に表現する場を設定し指導しています。



教師は指導をしたつもりでも、子どもたちは苦手意識をもっています。今の指導が、十分に成果を上げているとは言えません。活動の目的を明確にしたり、発達段階に応じてどのような指導を行うか校内で検討したりして、指導の改善に努めてください。

プロ教師として  
指導の質を磨く

導はず子  
す、れど  
るずとも  
必れいと  
要をま教  
が意す師  
が識。の  
りし私意  
まてた識  
す指ちは

## 家庭学習の質を問う

**Q** 家で学校の授業の復習をしていますか

**Q** 家で学校の宿題をしていますか

全国平均

-4.9% -4.1%

46.5% 44.5%

1.4% 6.5%

97.8% 93.3%

「復習をしている」という設問と同様に、「予習をしている」と答えた子どもの割合も、全国平均を下回っています。

9割以上の子どもが家で宿題をしています。

家庭学習の課題が「本読み、書き取り、計算」といった内容だけになっていませんか。自主学習をさせたり、1日の学習を振り返りノートにまとめさせたりするなど課題の質について再検討してください。

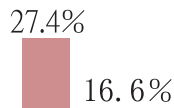


■ 浜松市小学校データ  
■ 浜松市中学校データ

## 子どもの生活習慣を問う

**Q** 普段（月～金曜日）、  
何時ごろに起きますか  
（6時30分より前と  
答えた児童生徒の割合）

61.4% 56.3%



全国平均

「早寝・早起き・朝ご飯」と  
いった基本的な生活習慣が身  
に付いています。



「基本的な生活習慣は身に付いていますが、家庭での過ごし方  
には課題もあります。学校と家庭が連携し、発達段階に応  
じた望ましい家庭での過ごし方を見直してください。」

**Q** 普段（月～金曜日）、  
1日当たりどれくら  
いの時間、テレビ  
ゲームなどをします  
か（1時間以上する  
と答えた児童生徒の  
割合）

58.4% 51.9%



テレビゲームをする時間  
が長い傾向があります。

**Q** 土曜日や日曜日など  
学校が休みの日に、  
1日当たりどれくら  
いの時間、勉強をし  
ますか（小学校は1  
時間以上、中学校は  
2時間以上の割合）

49.9% 37.4%

平日も同様ですが、休  
みの日にも家庭学習に取り  
組む時間が短いです。

-7.5% -3.2%

## 学校と家庭との 連携の質を問う

家庭と力を合わせて子  
どもの成長保障をして  
いきましょう。

## 読書の質を問う

**Q** 読書は好きですか

全国と比較して中学生は、  
読書が好きと答えた生徒が  
上回っている一方で、小学  
生は下回っています。

6.5%

全国平均

-1.5%

70.6% 76.6%

**Q** 「朝の読書」などの一斉読書の時間  
を設けましたか（毎日、週に数回と  
答えた学校の割合）

29.4%

17.4%

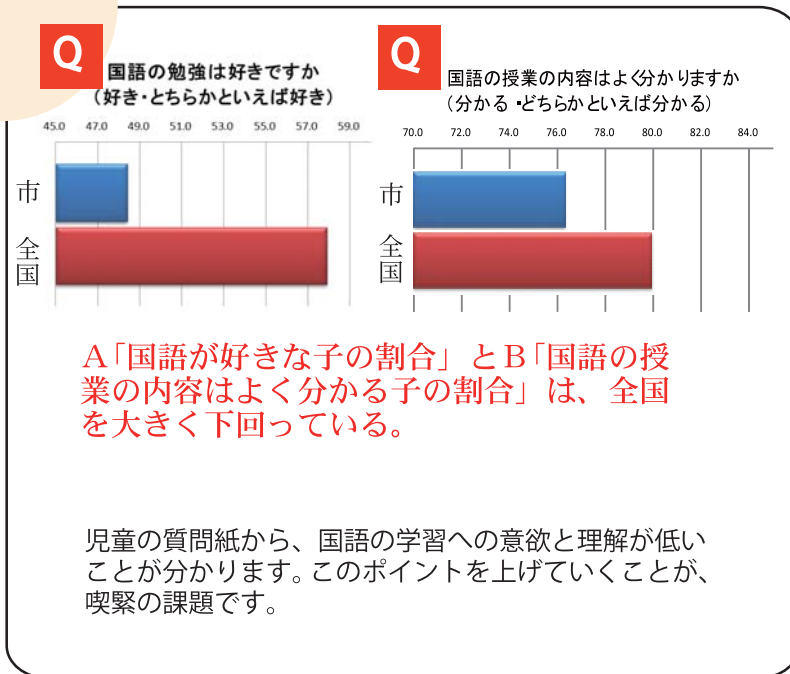
多くの学校で一斉読書の時間  
を設けています。全国平均と  
比べても割合は高いです。

91.3% 96.8%

一斉読書を設定しているにもかかわらず、「読書好きの子ども」の割合について  
は、同様の結果が表れていません。発達段階に応じて、読む本の質や本を選ぶ  
力を高めていく取り組みが必要です。



## 質問紙調査から見えてきたこと



## 結果から学ぶ 結果を生かす

明確な目的を持たせ、国語の授業を分かる・楽しい授業にするために、魅力的な学習課題と、適切な言語活動を考えましょう。

## 良好だと考えられること

ことわざの意味、文の定義は、概ねできる。

「石の上にも三年」「急がば回れ」の意味が分かったり、文章を一文ずつに区切ったりすることができました。

説明や報告を聞いて、助言や提案をすることができる。

相手の立場や状況を感じ取って聞いたり、話し手の意図を捉えて聞き、適切に助言したりすることができました。



目的や意図に応じ、報告する文章を編集できる。

目的や意図に応じ、リーフレットに必要な内容を適切に書き加えたり、引用したりすることができました。



## 課題だと考えられること

漢字の読み書き、文と文のつながりに課題がある。

下学年の既習漢字の読み書きができませんでした。また、接続語を使って文を分けたり、適切な接続語を当てはめたりすることができませんでした。

だから  
しかし

目的に応じて、資料を捉え、的確に答えられない。

グラフから分かることを書いたり、広告から編集の特徴を捉えたりすることができませんでした。また、話し合いやスピーチ原稿から、内容や表現の工夫を考えることができませんでした。



複数の内容を関連付けたり、比較したりして考えたことを適切に記述できない。

複数の内容を関連付けて考えを書いたり、2つの文を比べ、推薦している対象や理由を書いたりすることができませんでした。



## 授業改善例1

# 魅力的な学習課題と単元構想

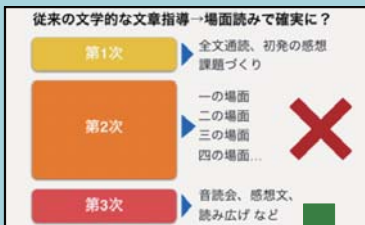
## 指導のポイント

単元を貫く言語活動は、低学年から取り組んでいく。

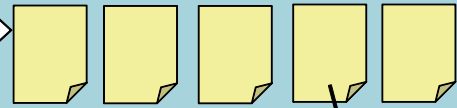
・登場人物の行動や会話に着目して読む力を付けるために、人物の一番好きな行動や会話を紹介プレートに書いて、友達に伝える。



## 指導例



①自分の好きなかえるくんの行動や会話をたくさん書き出す。

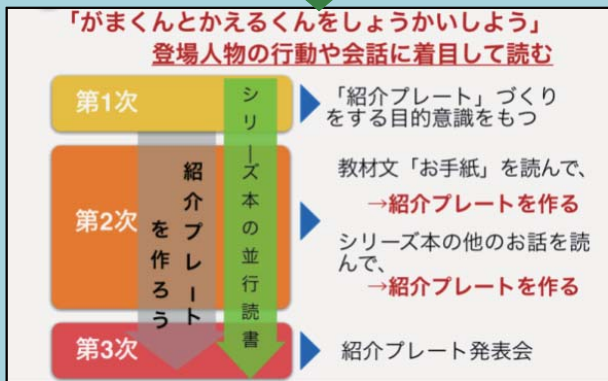


②その中から、一番好きな行動や会話を選び、紹介プレートに貼る。

③同様に、並行読書したシリーズ本から、行動や会話を書き出し、それぞれ一枚を選んで貼る。



④プレートを使ってかえるくんの好きなところを紹介し合う。



## 授業改善例2

# 適切な言語活動の位置付け

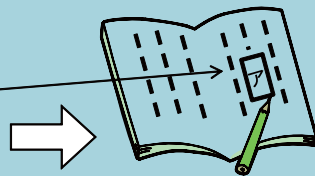
## 指導のポイント

ただ言語活動を位置付けるだけではない。

・紹介文や推薦文などの言語活動を行う上で、子どもの知識の確認をしたり、思考を深めたりする手立てが必要。

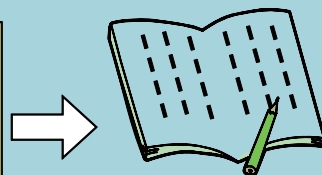
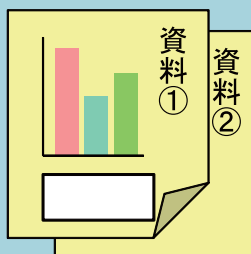


## 指導例



ノートやワークシートなどに適切な情報を抜き出す。

①目的に応じて、資料から必要な情報を引用する。  
(資料は、グラフ、広告、話し合いの様子、スピーチ原稿など)



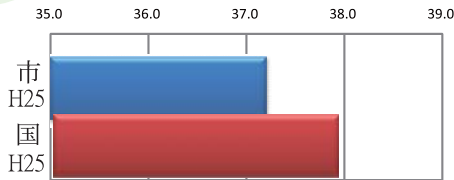
複数の資料から自分が考えたことを記述する。

②複数の資料を比較したり関連付けたりしながら、適切に表現できるようにする。



## 質問紙調査から見てきたこと

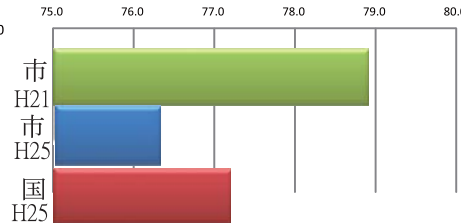
**Q** 算数の勉強は好きですか



算数が好きという子どもが全国と比べて少ない。

算数を学ぶ意欲や意義を感じていない子どもが増えています。

**Q** 算数の授業で新しい問題に出会った時、それを解いてみたいと思いますか



算数のよさ「次の解決に向かうこと」が全国やH21と比較して少ない。

## 結果から学ぶ

### 結果を生かす

明確な目的を持たせ、算数の授業を分ける・楽しい授業にするために、系統性を意識して、思考力・判断力・表現力を育む授業を実践していきましょう。

## 良好だと考えられること

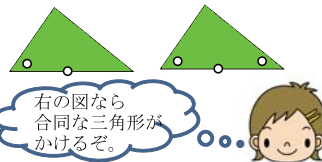
基本的な計算問題はよくできている。

整数・分数・小数の四則計算の正答率が高い状況でした。

$$2\frac{5}{7} + 1\frac{1}{7} = ?$$

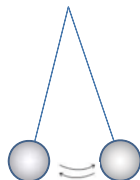
図形をかくために必要な条件を理解している。

合同な三角形をかくための必要な条件を見いだせる力が付いていました。



知識・技能を活用する問題は全国を上回っている。

活用する問題がよくできています。特に、示された振り子の1往復する時間の平均を求める式を活用して、その結果が何を求めているかについて捉えることができていました。



## 課題だと考えられること

単位量当たりの大きさを求めることに課題がある。

混み具合を比べる式と商の意味が、理解できていませんでした。

	人数(人)	面積(㎡)
A	12	6
B	8	5

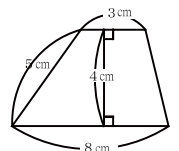
どちらがこんでいるかを調べるために、計算をしました。

- A)  $12 \div 6 = 2$   
B)  $8 \div 5 = 1.6$

1㎡当たりの人数?  
1人当たりの面積?

必要な情報を適切に選択し、答えを求める力に課題がある。

余分な情報が加わると、適切に台形の面積を求める公式を適用できていませんでした。



無解答率が全国よりわずかに高い。

記述式等の初めて見る問題解決に課題がありました。

見たこともない問題は解ける訳ないよ...



## 授業実践例1

### 系統性を意識した授業構想

#### 指導のポイント

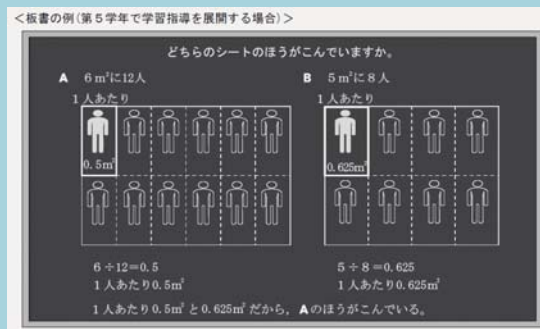
6年生だけではなく、  
全学年で対応していく。

- 他学年でも課題の箇所（単位量）に関連するところを整理し、系統性を意識して丁寧に扱う。
- 「単位量当たりの大きさ」を求める式や商の意味を、算数的活動を通して理解できる活動を取り入れる。



#### 指導例

- 小4「基準量と比較量」、小5「割合」、小6「速さ」など関連箇所を整理し、系統性を意識した授業を行う。
- 式について考え、「商」は何を表しているのかなど、意味理解をする話し合いを行う。
- 実際に新聞紙の上に乗って、混み具合を実感できる活動を仕組む。



【H25全国学力調査報告書小算P39参照:文科省】

## 授業実践例2

### 思考力・判断力・表現力を育む授業をもうひと工夫

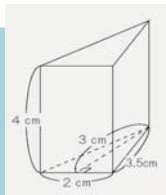
#### 指導のポイント

必要な情報を適切に選択し、  
答えを求める力をつけていく。

- 情報過多の問題や、子どもにとって間違えやすい問題を取り上げ、思考力・判断力・表現力を育てていく。

#### 指導例

- 面積や体積を求める問題で、必要以上の数値が示されている情報過多の問題を扱っていく。
- 子どもが間違えやすい問題や新しい問題を取り上げ、どこが間違っているか、何がわかれば解決できそうかを考え、思考力、判断力、表現力を伸ばす授業を行っていく。



小学校4年生の授業で、「19.6 mの長さの針金を3 mずつに切ると何本できて、どれだけあまるでしょうか。」という問題に取り組んでいます。

Tさんは右のように考えていましたが、意見交換の場で、友達の説明を聞いて、自分の誤りに気付きました。

Tさんの誤りを指摘し、テープ図または数直線を使ってその根拠を述べ、正しい答えもかきささい。

誤りの指摘とその根拠	<p>(例) 答えの本数は小数にはならない。図のように3 mずつに切っていくと、6本とれて、1.6 mあまり、これ以上3 mをとることができない。</p>
正しい答え	6本できて、1.6 mあまる。